

## 配信資料に関する技術情報(気象編)第217号

～1kmメッシュ解析雨量・降水短時間予報GPVの空間分解能の精緻化について～  
(配信資料に関する技術情報(気象編)第193号関連)

FTP方式で提供している1kmメッシュ分解能の解析雨量及び降水短時間予報GPVについて、平成18年3月1日から空間分解能を精緻化します。

### 1. 変更内容

平成17年6月から、解析雨量及び降水短時間予報の1kmメッシュ分解能GPVをFTP方式にて提供開始しましたが、配信資料に関する技術情報(気象編)第193号でお知らせしたとおり、現在は解析分解能2.5km・予測分解能5kmのデータを1km格子に内挿したものを提供しています。

今般、新しい数値予報計算機(NAPS)の導入に伴い、分解能の精緻化が可能となりましたので、平成18年3月1日から、解析雨量及び降水短時間予報の空間分解能を1km(ファイルのフォーマットと同じ分解能)とします(図1参照)。

この改善により、強雨地域の分布がより詳細に把握できます。また面的に積算した雨量は統計的には従来の解析雨量とほぼ同等の結果となります。ただし、レーダの観測誤差および技術上の問題で、位置や解析値の誤差が生じる場合があることは、これまでの解析雨量と同様です。

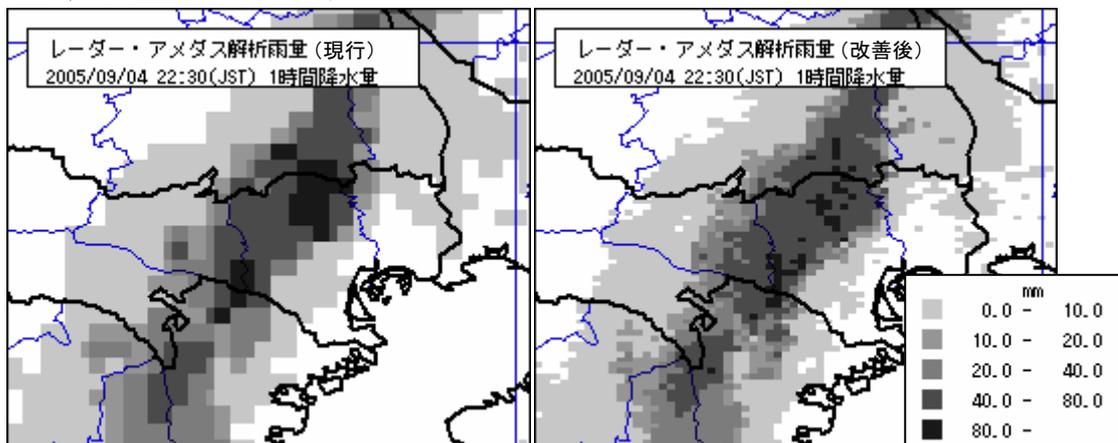


図1 新旧解析雨量の比較(平成17年9月4日)

左図は従来提供してきた2.5km分解能のデータを1kmに内挿した解析雨量。右図は1km分解能の解析雨量。

### 2. 実施日時

平成18年3月1日(水)00UTC初期値による資料から

### 3. その他

ファイル名、ファイル形式、配信時刻・間隔等は従来通りで変更ありません。

ファイル形式等詳細については、配信に関する技術情報(気象編)第193号を参照して下さい。